

やさしい
野菜づくり



ダイコン

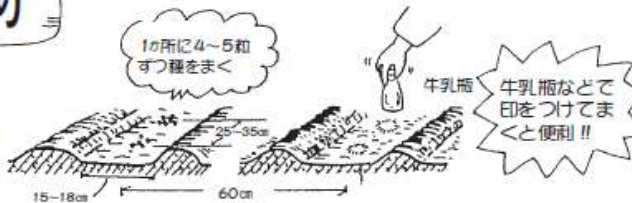
作 型 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

春まき ●●●●●●●●●●●●●●●●
夏まき ●●●●●●●●●●●●●●●●

●種まき ○収穫

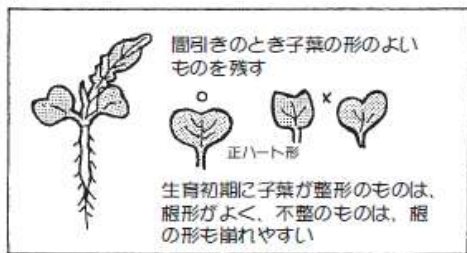
種まき

まきどき、用途、土質、好みなどに合う品種をえらぶ



間引き (普通栽培は3~4枚時に1本立てとする)

第3回(最終間引き)



シルバーの反射マルチでアブラムシの飛来を防ぐ



寒冷紗でアブラムシの飛来を防ぐ方法

育て方のポイント

- ①畑の準備 ■ 苦土石灰を施し、できるだけ深くていねいに耕す(砕土を細かく)
- ②種まき ■ 株間30~35cmを目処として、1ヶ所に4粒前後に点まきする
■ 覆土後は、軽く土を押さえて灌水する
- ③間引き ■ 春まき栽培では、本葉1枚時に3本残し、本葉3~4枚時に2本にし、本葉5~6枚時に1本仕立てとする
■ 夏まき栽培では本葉1枚時に3本残し、本葉3~4枚時に1本仕立てとする
(初期生育は、隣同士が触れ合うくらいの生育を行なう)
■ 間引きする株は、左図を参考に子葉の異形なもの、生育の劣っているものを抜き取る
- ④中 耕 ■ 間引き後は、株元に追肥を施用し軽く土と混ぜる

ワポイント

- 夏まき栽培(8/15以前)の播種は、初期生育を抑えるようにする(軟腐病対策)
- 生育期の下葉の摘葉は行なわない(傷口をすることにより病気がかかりやすくなる)
- 収穫近くの子ツソの効きすぎは収量低下の原因となる
- 春まきはトウ立ちしやすい品種とよく見る

施肥例(1㎡あたり)

肥料・堆肥	基 肥	追 肥		備 考
		①	②	
苦土有機化成特A801	150g	70g	50g	
苦土石灰	150g			

※追肥は、播種後20~30日頃に第1回を施用、その後、約10日後目安に第2回目を施用